

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	①自治会にも参加し、清掃活動や敬老会の行事等にも前向きに参加している。 ②ホーム主催の介護教室の開催を回覧板を利用してお知らせし、好評も得た。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	①、②2ヶ月に1回、定期的で開催されており、毎回介護保険課職員と包括職員の他、自治会の人にも必ず参加しており、ホーム内での対応や支援困難なケースなども運営推進会議を通して出たアイデアを活かして支援している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	①地域内の交流会に参加しており、関係機関との交流ができています。 ②認知症介護のモデル地区となっていることで、ホームとして推進に協力している。	○
重点項目④		評価
	②意見箱の設置や、家族が参加する行事の時に、家族から意見や提案や苦情などをいただき、前向きに対応している。 ③毎月発行している家族向けのホーム便りには、利用者の写真も載せて様子を伝えている。	○
重点項目⑤		評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域との交流については、難しい面もあるが、ホームの側から前向きに交流しようという姿勢が窺えた。運営推進会議も運営規程のとおり実施されており、議事録からも確認できた。さらに、ホームの地域が、町の認知症介護のモデル地区に選ばれていることで、そのサポーターとしてできることには協力している。また、家族との関係も重視し、出された意見には耳を傾ける姿勢が確認できた。

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。